

四季万象の世界

豊饒の大地は、千変万化します。宇宙も時々刻々その姿を変えながら拡大しています。人の好奇心と同じように、宇宙の果ても際限なく膨張しているそうです。貴重な絶滅危惧種のいのちを抱えながら、互いにリンクするようにして、私たちのいのちは連動しているのでしょう。

青い惑星は、美しいオーロラによって太陽の有害な電磁波を遮断してくれます。自転軸の絶妙な角度が地球の四季を創り、無限の景を宿します。46億年という時の堆積が、彩映に満ちあふれた大地を育てました。驚嘆すべき気象の流動や海流の動きが、不思議な生の彩となって万象を交流させるのです。

かつては火星にも生命体があったそうですが、水や大気を成層圏に止めることが出来ませんでした。地球と火星との最大の違いは、地球には相棒の月がいることです。月の満ち欠けは生命の誕生と深く関係します。地球は人間と同等ですから、人間の体温が42度を超すと絶命するように、地球もわずかな温暖化が命取りです。地球温暖化はすでに微熱状態を遥かに超えています。恐竜時代の化石燃料を急激に使い果たし、制御出来ていない原子力に依拠しすぎた科学万能の信仰が、せっかくの美の彩りを汚し、生の循環を渋滞させつつあります。

万物万象は、男女のように互いに惹かれ合い交歓します。変化に富んだ無限の交流が生を喜びを生みます。喜びは苦しみを伴い、生きる活力は、気流となって地球上を駆け巡り、その愛が澱んだ空気を浄化するでしょう。

いま私は、富士山ろくの駿河平のアトリエで、想念の宇宙に耳を澄ませています。風雨や光陰の恵みと語らいながらいのちの起源は何時、どこで発生したのか、そしてその奇跡はどんな偶然を味方につけながら、今日に至ったのか、壮大な天地創造の足跡を全身で感じています。遥か彼方からの美の予感、いのちの点滅に感応したいと思います。

私の心のかがみには、咲き乱れる千年さくら、紫雲たなびく富岳の景、天かける龍、森の賢者・ふくろう、など多種多様な姿が写ります。多彩ないのちが想像世界の相乗効果によって、新たな美の地平を拓いていきます。

この度は、私の生まれ育った京都からの発信です。王城の地・京洛の地は千年の古都であり、私の誇りです。「京都議定書」締結の地の夏は今年も暑いでしょうが、私はそれ以上に燃えています。日本美の起源、現代美と地球環境への思いを新たにする起源シリーズには、未来へのメッセージを込めました。それは私の美の祝祭です。是非、次代を担うお子さんとともに高覧ください。



2012年7月吉日 木村圭吾